

九州地方整備局 福岡管区気象台
九州運輸局 九州管区警察 局警察
福岡県 福岡県 警 察 会
佐賀県 佐賀県 警 察 会
西日本高速道路（株）九州支社 九州トラック協
九州バス協 会

大雪時の幹線道路（太宰府～久留米間） における交通確保の取り組みについて

－ 関係機関の更なる連携を強化 －

- 近年、日本の各地で普段雪の少ない地域も含め、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある集中的な大雪が局地的に発生しています。
- 九州地方においても平成28年1月には各地で大雪となり、特に太宰府～久留米間では、国道3号などを中心に顕著な交通渋滞が発生しました。
- このような、大雪時の通行止めや交通渋滞などの道路交通障害は、物流が停滞するなど国民生活や経済活動に大きな影響を及ぼします。
- このため、特に九州の道路交通の要所となる鳥栖JCT周辺（太宰府～久留米間）の高速道路や国道3号等における大雪時の道路交通障害の低減を図るため、平成30年度より関係機関からなる「大雪時の幹線道路（太宰府～久留米間）交通確保に関する連絡調整会議」を開催し、議論の結果を踏まえて、「大雪時の幹線道路における交通確保の取り組み」を取りまとめました。
- 今後、各関係機関が更なる連携強化を図り、以下の取り組みを行っていきます。

取り組み①：関係機関の連携強化

取り組み②：大雪に関する情報提供の強化

取り組み③：交通確保のための各機関の対応

- この取り組みは、毎冬の実績や課題を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととしています。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 道路部

道路管理課長 沓掛 孝（くつかけ たかし）

道路管理課長補佐 中山 福德（なかやま ふくのり）

電話：092-471-6331（代表） 092-476-3533（直通）

大雪時の幹線道路(太宰府～久留米間)における交通確保の取り組み

1. 背景

■平成28年1月に各地で集中的な大雪となり、高速道路・主要幹線道路の通行止めや交通渋滞等の道路交通障害が発生。

■暖冬傾向のなかで、記録的寒波が到来し、大雪となった。

■九州道(福岡～広川IC)では、約63時間の通行止めとなり、周辺の国道3号、34号においても約60kmを超える大規模な交通渋滞が発生。



▲平成28年1月の大雪時における通行止状況



▲国道3号(筑紫野市原田)



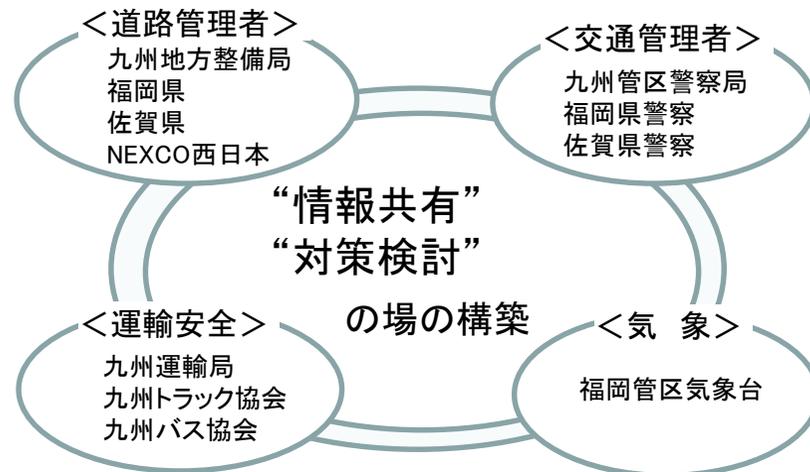
▲国道3号(永吉交差点付近)



▲国道3号(基山駅前付近)

2. 関係機関の連携強化

■道路管理者、警察、気象台、利用者団体等から構成される会議を設置。



■大雪により、高速道路、国道等の幹線道路の通行規制が長期化する場合は、社会的影響が大きくなることから、関係機関が迅速に情報共有し、対応を検討する場を構築。雪の降り方や通行止めの状況に応じて以下の会議を開催。

- ①「大雪時の道路交通に関する関係機関との調整会議」
・幹線道路の長期間規制が予想される場合 など
- ②「大雪時交通渋滞対策協議会」
・深刻な渋滞により、復旧・支援活動に支障を来す恐れがある場合 など
- ③「大雪時交通マネジメント検討会」
・通行止めが長期化し、交通渋滞の発生により地域の経済・産業活動、日常生活輸送等に多大な影響を及ぼしている場合 など

■関係機関が、「タイムライン(段階的な行動計画)」を作成・共有し、円滑な情報共有、除雪作業の実施を図る。

大雪時の幹線道路(太宰府～久留米間)における交通確保の取り組み

3. 大雪に関する情報提供の強化

■九州地方整備局・九州運輸局・福岡管区气象台・NEXCO西日本九州支社では大雪の2～3日前から段階的に「大雪に関する緊急発表」を実施。

■福岡管区气象台では、冬型の気圧配置により日本海側で数日間降雪が持続するようなどきなど、精度よく予測が可能な大雪の場合には、3日先までの降雪量予測を提供。

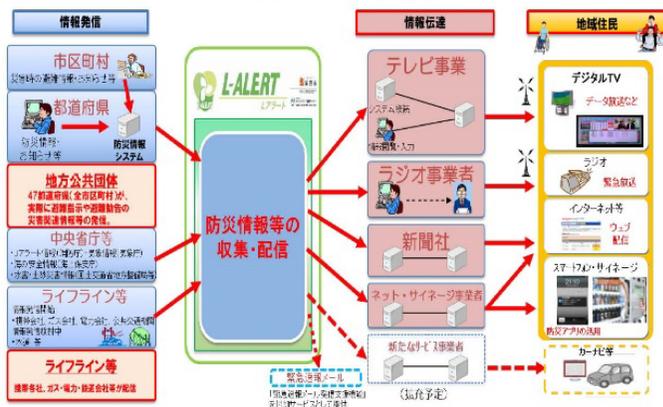
■道路利用者に対し、最新の気象情報・道路交通情報による、行動計画の見直しを注意喚起。

＜行動計画の見直しの留意点＞

- ①車両の運転の取りやめ ②通行日時の変更 ③運行ルートの見直し

■各道路管理者等は「大雪に関する緊急発表」を踏まえ、「道路情報板」「新聞」「ラジオ」「ホームページ」「SNS」「Lアラート」等を活用し、道路利用者へ向けて、「不要不急の外出抑制」や「やむを得ず車両を運転する場合の注意喚起」(冬用タイヤの装着・チェーンの携行など)を呼びかけるなど広報を強化。

＜Lアラートの仕組み＞



＜Lアラート導入の効果＞

- 情報発信者**
- テレビや携帯電話、ネットなど多様なメディアを通じて、確実に迅速に住民へ情報提供。
 - 情報伝達に係る個別入力がなくなり負担軽減。
- 情報伝達者**
- データ入力の手間を省いた確実・迅速な情報伝達が可能。
 - 標準データ形式による情報入手により効率的な情報提供やコストの削減を実現。
- 地域住民等**
- 多様で身近なメディアを通じ、いつでも、どこでも確実に迅速に情報を入手することが可能。
 - 災害に関する緊急情報をリアルタイムに受信可能。

出典：総務省HP

4. 交通確保のための各機関の対応

＜九州地方整備局＞

- ・集中的な大雪時の予防的な通行規制・集中除雪や立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応を実施。

＜九州運輸局＞

- ・公共交通機関別運行(航)情報「九州のりものinfo.com」や訪日外国人観光客向け「Safety information Card」等により情報発信。

＜福岡県・佐賀県＞

- ・各道路管理者等と連携を図り、道路情報板を用いた広報強化、積雪時には融雪剤の散布、除雪作業を実施。

＜NEXCO西日本＞

- ・概ね48時間前から通行止めの可能性がある地域や区間を情報発信。
- ・小型ロータリー除雪車等の重機を併用し排雪作業の効率化を図る。
- ・必要に応じ各地域の事務所より広域支援による体制の強化を図る。

＜九州トラック協会＞

- ・全日本トラック協会作成の「日常点検及び雪道対策DVD」、「雪道対策マニュアル」、「冬用タイヤの装着だけで安心していませんか？(全国のチェーン規制対象区間一覧)」等を活用し、全会員事業者のドライバーへの指導教育の徹底。

＜九州バス協会＞

- ・タイヤチェーンの装着訓練、スタッドレスタイヤへの事前交換、道路交通情報や降積雪情報の共有。

5. ホームページでの情報提供サイト

- ①最新の気象情報：<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
- ②最新の道路交通情報：<https://www.jartic.or.jp/>
- ③九州地方整備局(道路情報提供システム)<http://road.qsr.mlit.go.jp/>
- ④九州運輸局：<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>
- ⑤NEXCO西日本(ハイウェイ交通情報)<https://ihighway.jp/pc/index.html>
- ⑥福岡県(道路情報)<http://www.douro.pref.fukuoka.lg.jp/top.html>
- ⑦佐賀県(道路情報)<http://www.sagajoho.jp/kisei/main.html>